



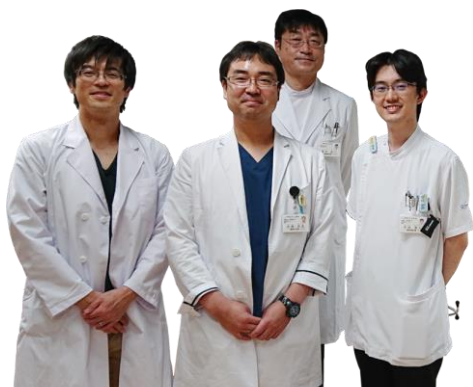
## 理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

## 基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

# 循環器内科再始動



循環器内科 医長 田淵 真基

左から、戸杉医長、田淵医長、森谷主任部長、中村医員

心臓病、という言葉で皆様は何を思い浮かべますでしょうか。厚生労働省の死因統計では心疾患はがんに続き第2位、という話を聞いてもはやしばらく経ちます。心筋梗塞などの緊急疾患はいつの時代にも一定の確率で起こり、重症心臓病の場合は親しい方と突然お別れすることとなる事態もしばしばあります。最近の話題では、COVID-19の重症化因子として心臓病の存在も謳われるようになり、今年は例年よりいっそう心臓病に対して意識することも多くなっているように感じます。

このような疾患を診察・治療する際は、私たち循環器内科医が担当します。

一度閉鎖となりました当院循環器内科ですが、機がありこの度再稼働させていただくこととなりました。現在、部長の森谷医師、医長として私と戸杉医師、および初期研修より引き続き循環器内科を選択されました中村医師の4名体制で診療を行っております。私としましては岡山での就労中に循環器専門医資格を取得させていただき、現在複数名の専門医で診療にあたることできるようになりました。また、岡山大学関連病院を中心に、より先進的治療が必要になった場合のパイプも形成することができたことは、地域のみなさまへせめてものお土産になるのではと思っております。ですが以前から変わらず、当院で可能なスタンダードな医療行為を最大限のクオリティで提供できるよう今後も努力していきます。これまで以上に受診される方の不安を取り除き、満足していただける医療の提供を目指したいと思います。



心臓カテーテル手術の様子

— 当院の医療安全対策 —

# 安心して入院生活を送っていただくために

感染予防対策 について



感染管理認定看護師  
中谷 知子

「病気を治したい」という気持ちで患者さんやご家族が訪れる、最も安全な場所であるべき病院。しかし病院は、感染症患者さんを治療する施設でもあるため、一步間違えると感染拡大が起こりうる場所です。院内感染ゼロを目指して、医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師など多職種で構成する感染防止対策チームが「病院で過ごす全ての人を感染から守ること」を使命に活動しています。

## 1

### 手洗いは基本の「き」

感染予防の基本と言われている手洗い。「手洗いによって多くの感染症が予防できる!」と言っても過言ではないくらい重要なことです。当院では、感染防止対策チームが全職員に対して院内巡視や院内研修会で啓発すると共に、各部署の感染防止対策担当者がスタッフに適切な手洗いを推進しています。

## 2

### 病原体の持ち込みを防ぐ

入院病棟はいわゆる集団生活となるため、ひとたび病原体が持ち込まれると感染拡大しやすい環境です。新しく入院される患者さん、外泊から帰院される患者さん、面会の方などに対して、かぜ症状・胃腸炎症状・目の充血・発疹など感染症を疑う症状がないか確認しています。

## 3

### 治療中の感染を防ぐ

～医療器具関連感染防止について～



医療現場特有の感染として、点滴、排尿、呼吸を助けるために体内に留置された医療器具を伝って病原体が侵入して起こる血流感染、尿路感染などがあります。例えば、病原体が何らかの原因で血管内に入るなどです。当院で発生している点滴の管による感染は、10年前と比べて約4分の1程度に減少しました。手洗いや医療器具の使用方法などが適切に行われるようになってきたと評価できますが、今後も感染ゼロを目指すことに変わりはありません。

## 4 感染徴候を 早期発見、早期対応



体調変化をきたした1例目の患者さんを出来るだけ早く察知して感染症を疑い、素早く対応することがとても重要です。例えば、高熱と咳症状をキャッチした時点で何らかの感染症を疑い、患者さんにマスクをしていただいた上で、他の患者さんと接触しないような対策を講じます。併せて、その病棟に同症状の患者さん・職員・面会者が存在していないか情報を収集、評価し、感染拡大の有無を予測しながら対応します。

## 5 患者さん、面会の方に ご協力をお願いしたいこと



- 受診の際や、ご面会の方、入院中の方も手洗い・咳エチケットの励行をお願いします。
- かぜ症状、胃腸炎症状、発疹等があれば、速やかに看護師にお知らせ下さい。
- 感染症流行時期は面会を制限します。入院患者さまの安全のため、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 令和2年度 インフルエンザ予防接種について

本年度のインフルエンザ予防接種を下記の日程により実施します。  
接種を希望される方は、事前に来院、または電話にてご予約ください。

総合受付窓口  
0857-37-1522(代表)

### 実施 期間

令和2年10月15日  
～令和3年2月25日

※ ただし、土・日・祝日と年末年始(12月29日～1月3日)は除きます。  
※ 1月以降は状況により予定を変更する場合があります。  
その際はホームページなどでお知らせします。

### 日時 および 場所

#### 16歳以上の方

10月15日(木)～

月曜日 14時～14時30分\*

木曜日 13時～13時30分

※月曜日は12月28日まで

内科外来

#### 16歳未満の方

10月20日(火)～

火曜日

14時～15時

小児科外来

#### 妊婦の方

10月26日(月)～

第2・第4月曜日

14時～14時30分

産婦人科外来

### 接種 料金

任意接種者 …………… 5,038円

接種券等をお持ちの方 …… 記載された負担金

65歳以上の方(60歳以上65歳未満の方で、特定の疾患を有する方も含む)、小児の方、及び重度の心身障がい者(児)の方につきましては、市町によって接種券(助成券)が交付されています。

詳しくはお住まいの市町にお問い合わせください。